

やまがた若者地域づくり参加推進事業費

事業評価個票（事業実施：平成30年度）				部局名	子育て推進部			
短期アクションプラン	テーマ	テーマ1 郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり						
	施策	施策3 若者や女性が活躍できる環境づくりの推進						
	目的	若者や女性が、将来に夢や希望を持ちながら、いきいきと活躍できる社会の実現に向けた取組みを推進する。						
	目標指標（R2）	やまがた若者交流ネットワークシステム「やまがたおこしあいネット」への参加団体数	370団体					
	策定時の実績	269（H27）	現状	332（H30）	主要事業 若者の地域への愛着や誇りの醸成			
事業名	やまがた若者地域づくり参加推進事業費	担当課・担当	若者活躍・男女共同参画課 若者活躍担当					
事業開始年度	H29年度	事業終了（予定）年度	—					
事業の目的（目指す姿を3行程度で簡潔に）	地域活動を志す若者たちへの指導や若者の活動発表の場づくり等を充実し、自ら解決に挑む若者たちの活動を自立的に行うための体制づくりを促進するとともに、これらの取組みをメディアを通して広く発信し、県民の理解を深め、若者一人ひとりが、夢と希望を持ち、暮らし、活動できる山形県を実現する。							
事業概要（5行程度で簡潔に）	①若者支援コンシェルジュ等の設置 若者活動の総合的な相談窓口として、活動資金、メンバーの確保等の相談支援を行うほか、グループ同士のマッチング支援を行う。また、県内各地域に若者サポーターを配置し、現地でのアドバイスなど実践的な支援や、新たな若者の活動の呼び込みを行う。 ②若者まつりの開催、若者の活動情報の発信 若者が集う県民参加型イベントの開催、地域で活躍する若者の活動状況をラジオやSNS等を活用し発信するほか、若者交流ネットワークシステム「やまがたおこしあいネット」の運用を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 上記実施方法とする理由：NPO等の民間団体と協力して実施することにより、相乗的な効果が期待できるため。							
予算額・決算額（単位：千円）	費目（予算見積書のグループ名）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	若者の地域づくり参加促進事業	6,860						
	若者交流ネットワークミーティング開催事業	1,427						
	アイデア創有座談会開催事業	6						
	若者支援コンシェルジュ事業		3,114					
	若者まつり・情報発信事業		4,476					
	計	8,293	7,590	0	0	0		
財源内訳（単位：千円）	国庫支出金	4,137	3,789					
	繰入金							
	その他特定財源							
	一般財源	4,156	3,801					
	計	8,293	7,590	0	0	0		
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	イベント、メディア等における「やまがたおこしあいネット」の周知回数	活動実績	回	12	10			
		当初見込み	回	12	10	10	10	
成果指標及び成果実績（アウトカム）	成果指標（所管部局の分析）		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	やまがた若者交流ネットワークシステム「やまがたおこしあいネット」への参加団体数	成果実績	団体	305	332			
		目標値	団体	310	330	350	370	
		達成度	%	98.4%	100.6%			
関連事業								

事業目標の考え方(事業目標設定時)

人口が減少している本県において、若者の定着は重要な課題であり、そのためには山形県が若者の活躍できる環境であり、かつ、県民全体で若者の活躍を応援する機運を醸成することが必要である。

本事業目標は、若者が活躍できる環境を実現するために必要な、活動の母体となる一定の意識を持った若者団体数について勘案し設定したものである。

事業所管部局による評価・検証

	項目	評価	評価に関する説明
事業目標の妥当性・達成度	事業の目的は県民や社会のニーズを的確に反映しているか。	A	ラジオ放送やイベント「若者まつり」を開催するなど、若者の活動を県民に周知することは、県民全体で若者の活躍を応援する機運を醸成するために必要である。また、若者交流ネットワークシステム「やまがたおこしあいネット」により、若者団体との情報の共有を図ることは、若者の主体的な地域活動を推進していくために重要である。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	A	
	目標水準は妥当か。	A	
	期待する成果が得られたか。	A	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	A	
事業内容の妥当性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	A	企画提案方式による事業者の選定等を行い、事業実施に最も相応しい事業者を選定している。
	支出先の選定は妥当か。	A	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	A	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	A	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	A	
類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	A		
の役割 妥当性 分担	市町村、民間等に委ねることができない事業なのか。	A	営利を目的としないほか、市町村ではなく県域をベースに実施することが必要である。
今後 改善 の課題 等	若者の活動の県民への一層の周知を図るとともに、地域で活動する若者や若者団体の交流促進、活動のレベルアップに繋がる取組みを進める。		

・事業所管部局による評価にあたっては、以下の4つの選択肢から、1つを選ぶこと。

A: 目標を上回って達成する見込み。期待通りの成果(100%以上)。妥当。

B: 目標を概ね達成する見込み。概ね期待通りの成果(80~99%)。概ね妥当。

C: 改善の余地あり。期待した成果を下回っている(79%以下)。

ー: 該当しない